

各位

2024年4月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
コーポレート・コミュニケーション部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和6年2月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比80.5%、学生団体は同92.0%、団体旅行合計では同86.3%となった。企画旅行については2018年度比64.1%となった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、2018年度比67.9%と2018年度を下回った。

海外旅行の取扱額は、一般団体は2018年度比55.8%、学生団体は同85.3%、団体旅行合計では同63.0%となった。企画旅行については2018年度比44.4%となった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、2018年度比48.5%と2018年度を下回った。

訪日旅行は、2018年度比112.7%と2018年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の2月の総取扱額は、2018年度比67.2%と2018年度を下回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションやイベントツアー、宗教団体参拝などの大型案件の取扱いがあったものの、2018年度の回復には至らず、職場旅行や観光については取扱額が減少し、2018年度比80.5%となった。学生団体のうち、修学旅行では、私学の取扱いを中心に取扱額の数値の底上げをしたものの、2018年度比91.6%となった。修学旅行以外の学生団体においては、取扱い総件数は減少したもののスキー研修等の取扱いにより、2018年度比92.8%となった。この結果、国内団体旅行合計では2018年度比86.3%となった。

国内企画旅行については、2018年度比64.1%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、宿泊単体の商品は好調であったが、ダイナミックパッケージ商品などの交通付き商品が低調となり、2018年度比49.0%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、テーマ型商品が好調に推移したものの、前月に引き続き能登半島地震の影響もあり、2018年度比74.3%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、2018年度比67.9%となった。

2. 海外旅行

海外団体では、スポーツイベントや視察・研修旅行などで取扱額が前年より増加したものの、2018年度比55.8%となった。学生団体は、修学旅行の取扱い件数が2018年度には及ばず、2018年度比85.3%となった。この結果、海外団体旅行合計では2018年度比63.0%となった。

海外企画旅行については、2018年度比44.4%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、商品ラインナップや価格設定が市場のニーズに合わず、依然として販売が低迷。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、ヨーロッパや中南米、オセアニア方面が好調に推移したものの、2018年度までの回復には至らなかった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、2018年度比48.5%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、スポーツイベント等の大型案件の取扱いや、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が春節連休により好調に推移したことにより、総取扱額としては、2018年度比112.7%となった。

以 上

※前年実績においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け比較対象としては異常値となることから2018年度との比較にて表記。